

モンテディオ山形 J1 残留

新たな挑戦へ



山形新聞

発行所
山形新聞社〒990-8550
山形市旗本町2-5-12
電話 代表023(622)5271
©山形新聞社 2009

記念号外

「直接対決4連戦」を締めくくる16位柏との大一番を1-0で制し、残留へ大きく前進した - 10月24日、千葉県・日立柏サッカー場

初挑戦のJ1で残留を達成したモンテディオ山形。10年かけてたどり着いた国内最高峰の舞台は、味わったことのない興奮と刺激に満ちていた。積み重ねた経験、そして厳しい下馬評を力に変え、全員が一丸となって勝ち残った。

多くの期待を背負ったチームは、鮮やかなスタートダッシュを見せた。開幕戦で磐田を6-2で下し歴史的な大勝を飾ると、雪中の激闘となった強豪・名古屋とのホーム初戦は0-0に持ち込む粘りを発揮。開幕5試合で3勝1分け1敗、確実に勝ち点を上積みした。その後は故障者が相次ぐなどして徐々に順位を落としたが、若手の成長に加え、途中加入の選手が躍動するなど盛り返した。降格圏に入ったのは第16節の1度だけ(16位)。残留を懸けた下位チーム同士の「直接対決4連戦」は負けなしで乗り切って前進した。

「主手」をかけてからは生みの苦しみも味わった。第31節鹿島戦は0-2で完敗、続く第32節大宮戦はスコアレスドローに終わった。だが第33節名古屋戦、試合には敗れたものの、降格圏16位の柏が勝利を逃したために残留が決定した。勝って決めることはできなかったが、小林伸二監督の下で一丸となったイレブンが年間を通して演じた激闘、積み上げた勝ち点の価値が色あせることはない。チームは「J1定着」へ新たな一歩を踏み出した。

節	勝敗	対戦相手	スコア
1	○	磐田	6-2
2	△	名古屋	0-0
3	●	F東京	0-1
4	○	千葉	1-0
5	○	G大阪	1-0
6	●	G大阪	1-2
7	△	鹿島	1-1
8	○	大宮	3-0
9	△	柏	0-0
10	●	神戸	1-3
11	●	新潟	0-1
12	●	鳥島	1-3
13	△	京都	0-0
14	●	清水	1-4
15	●	川崎F	0-1
16	●	浦和	2-3
17	○	横浜M	2-1
18	○	磐田	3-1
19	△	新潟	1-1
20	△	G大阪	1-1
21	●	京都	0-1
22	○	F東京	1-0
23	●	川崎F	0-2
24	●	広島	1-2
25	●	浦和	1-4
26	●	清水	0-1
27	○	千葉	2-1
28	△	大宮	0-0
29	○	神戸	1-0
30	○	柏	1-0
31	●	鹿島	0-2
32	△	大宮	0-0
33	●	名古屋	0-2
34	●	横浜M	-

(青はホームゲーム)



サポーターもJ1の興奮と感動を共有した



昨季の昇格に続き今季も下馬評を覆す結果に導いた小林伸二監督